

静岡県における有茎尖頭器の利用

柴田亮平・三好元樹・中村雄紀

要旨 有茎尖頭器は縄文時代草創期前半の特徴的な石器であるが、県内では近年の大規模工事に伴う発掘調査の結果、資料数が大幅に増加している。そのため、本論では静岡県内から出土した有茎尖頭器の集成をおこなった。集成の結果、511点の有茎尖頭器が出土しており、その大半が東部地域に集中すること、旧石器時代遺跡の密集地域であった磐田原台地では出土例に乏しいことがわかった。また、石器群として出土する例に乏しく、大半が散在的な出土の様相を見せることが再確認した。東部地域ではホルンフェルス（頁岩）と安山岩が利用石材の約8割を占め、近傍の石材に依存していることが分かった。その一方で、残りの2割には青森県深浦八森山産の黒曜石など遠隔地の石材が少數含まれていることが明らかとなり、縄文時代草創期の地域・社会関係を明らかにする上での課題が浮かんできた。

キーワード：有茎尖頭器、縄文時代草創期、隆起線文土器

はじめに

今から約15700～11500年前の約4200年間に及ぶ（小林2007）縄文時代草創期は日本列島における人類史の大きな転換点の1つである。氷河期であった旧石器時代から温暖な縄文時代に至る、急激な気候変動が縄文時代草創期には生じた。まず、約15500年前に本格的な温暖化が始まる。温暖化はそのまま進むことなく、約13200年前には急激に寒冷化する。ヤンガー・ドリアス相当期といわれるこの寒の戻りが終わり、再び温暖が始まる約11500年前は縄文時代草創期と早期の境目と一致する（工藤2005）。

更新世から完新世への激しい気候変動の影響と考えられるが、残された石器も他の時期と異なるものが多い。そうした遺物の1つとして有茎尖頭器が挙げられる。狩猟具と考えられる有茎尖頭器は、九州地方ではその数は少ないものの、北海道から本州まで、日本列島の各地で出土することが知られている。地域や時期によって形態に違いが認められ、「立川型」、「小瀬ヶ沢型」、「柳又型」、「花見山型」などといった型式名称をつけて呼ばれることがある。

有茎尖頭器は隆起線文土器の時期に使用されるようになり、多縄文土器の時期までは存続しないと考えられる（光石2008、藤山2009）。その時期の気候は、縄文時代草創期なかごろの若干暖かい時期にあたる。旧石器時代から用いられていた槍と縄文時代に主体的に用いられるようになる

弓矢とが交錯する時期に現れた有茎尖頭器の様相を明らかにすることは、当時の社会の変化を考えるうえで、欠くことができない。

有茎尖頭器の研究は近年特に顕著であり、有茎尖頭器についての著書が出版され（長井2009）、雑誌においても特集号が組まれた（旧石器文化談話会2008）。長井謙治の著書では、有茎尖頭器の身部に残される特徴的な剥離面である「斜行剥離」の向きが北海道と本州とで異なっており、動作連鎖の違いが存在したという指摘がなされている（長井2009）。この指摘は有茎尖頭器研究から発信された、石器研究、延いては物質文化研究についての新たな研究指針の投げかけとして評価できる。

1 研究の目的と方法

本州以南の有茎尖頭器は、単独で出土することが多く、石器群が捉えられるような出土例に乏しいことが知られている。これは一定期間の居住の場ではなく、短期間の狩猟の場に残されたことが多かったことの反映とみて取れる。

静岡県においてもその出土状況は変わらず、単独出土資料が大半を占める。多数の旧石器時代、縄文時代の集落が確認されている愛鷹山山麓においても単独出土例は多数あるものの集落と考えられる遺跡は未だ発見されていない。

今後とも爆発的に当該期の集落遺跡の発見が相次ぐこと

は望めない以上、狩猟活動により単独で残されることが多いという有茎尖頭器の特徴を評価した研究を進めていくことが有効であろう。関東平野南西部においては既に、居住地外の資料を評価する研究が始まられている（藤山2007）。

その基礎的作業として、静岡県における有茎尖頭器を悉皆的に集成することが有効であると考えた。有茎尖頭器の集成は古くは1970年代に旧石器時代の遺物集成の中で行われている（秋本1972・1976）。1990年代に入ると、静岡県史に有茎尖頭器についての項が設けられ、県全域の有茎尖頭器が一覧表にされている（瀬川1992）。また、愛鷹・箱根山麓の縄文時代草創期の資料集成においても有茎尖頭器の集成がなされている（池谷1996）。今回の集成では県全域を対象とし、石材や計測値を記載することで、今後の分析に有効なものを作成することを目指した。

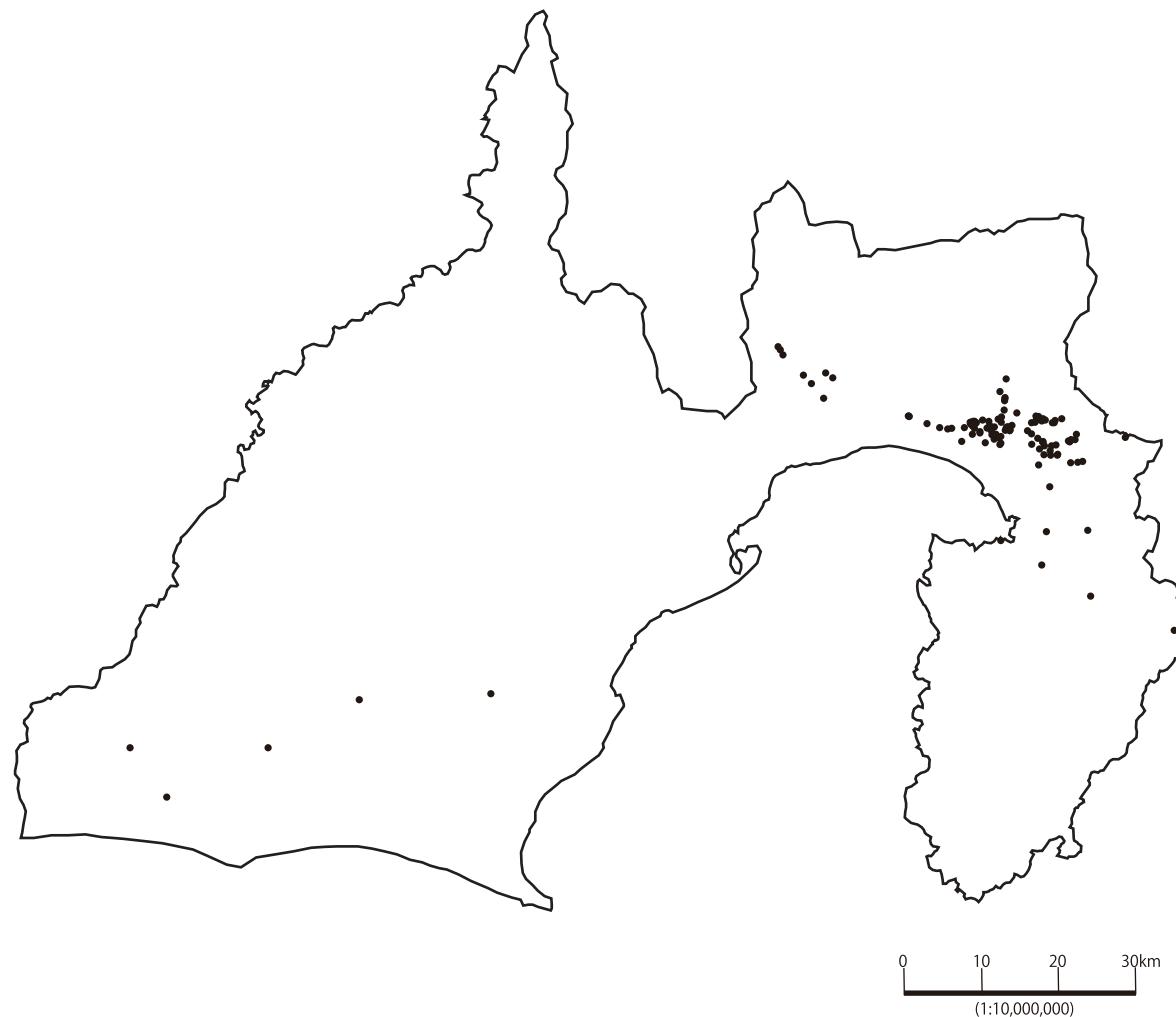
集成は執筆者で分担して行った。報告書や県史・市史な

どに記載があるものを集成の対象とした。実測図や写真が公表されていない、遺跡名のみの記載のものについては除外した。計測値が記載されていないものについても、図上から略測可能なものは略測した値を記した。

2 静岡県内の有茎尖頭器出土遺跡の分布

第1図は静岡県内における有茎尖頭器の出土遺跡である。分布から東部の愛鷹・箱根山麓周辺に極端に集中していることが分かる。当地域は旧石器時代遺跡の集中地域でもあり、旧石器時代から継続して生活の場として利用されていたことが伺える。ただし、先述のとおり当該期の集落遺跡は未だ発見されていない。

静岡県の旧石器時代遺跡が、愛鷹・箱根山麓周辺と磐田原台地に集中域が分かれていることは、すでに周知の事実である。しかし、今回の集成結果を見てみると愛鷹・箱根山麓周辺とは反対に、磐田原台地ではほとんど確認できな



第1図 静岡県有茎尖頭器出土遺跡分布図

かった。磐田原台地では、愛鷹・箱根山麓周辺とは異なり、細石器段階以降、遺跡が激減することとなる。

その理由を考えていく上で注目したいのが、2つの地域の利用石材の違いである。在地の石材として、愛鷹・箱根山麓周辺ではホルンフェルス、磐田原台地では頁岩系の石材をそれぞれ主体的に利用している。これは2つの地域で時期を問わず共通しているが、愛鷹・箱根山麓周辺では主要な石器を中心として黒曜石をも主体的に用いている。黒曜石の原産地は時期によって推移するが、中部高地産や神津島産などの遠距離石材が多量に含まれていることが、これまでの研究で明らかになっている。逆に磐田原台地では、黒曜石は少數しか利用されていない。この利用石材の違いは、そのまま両者の行動範囲の違いに直結していたと考えられている（笹原2010）。

縄文時代草創期では、遠隔地の石材を使用した製品が、散発的に確認される例が各地で認められている。磐田原台地で遺跡数が激減する理由として、当地における狭い行動範囲が、縄文時代草創期の生業・生活パターンと疎み合わなかった可能性が考えられる。現状では乱暴な推論に過ぎないが、可能性の一つとして示しておきたい。

また、富士山西南麓にあたる富士宮市域で分布が確認されていることに注目したい。当地域は富士宮市（旧芝川町）大鹿窪遺跡を除いて、本格的な縄文時代草創期の遺跡は確認されていない。しかし、富士宮市下高原遺跡が確認され、「後期旧石器時代の遺跡が展開する時期に泥流が多発し、大地を覆い尽くした」（財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所2010f）と考えられていた当地域で本格的な旧石器時代遺跡が存在していたことが明らかにされた。当地域の石材は愛鷹・箱根山麓周辺と似通った様相を呈しており、同様に旧石器時代から縄文時代草創期まで継続して生活の場として利用されていた可能性も考えられる。今後の研究が期待される。

3 静岡県の有茎尖頭器の特徴と概要

今回集成された有茎尖頭器出土地は110遺跡122地点に上るが、これらはほとんどが単独出土の遺跡である。表採や後世の遺構・包含層からの出土の事例が多いのも事実であるが、広範囲にわたって発掘調査された遺跡でも有茎尖頭器は散在的に出土するのみであることが多い。現在、有茎尖頭器と共に伴する遺物について議論することができる資

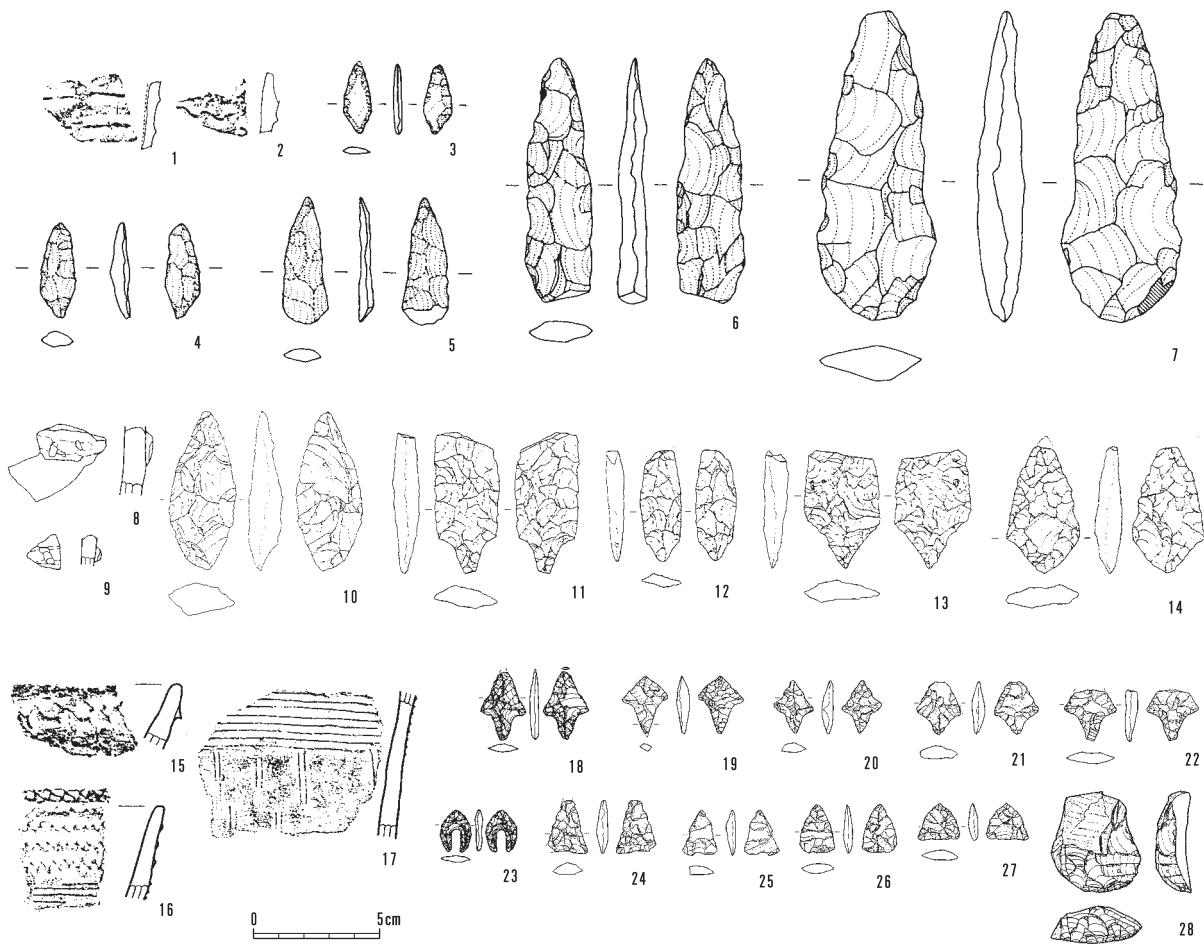
料が出土しているのは、富士宮市小塚遺跡、同・大鹿窪遺跡、伊豆市甲之背遺跡、島田市旗指遺跡の4遺跡のみである。

旗指遺跡は窯跡として有名であるが、その調査に伴って縄文時代の遺物が発見された（旗指遺跡第I地点）。草創期の資料は尖頭器、有茎尖頭器、石鏃、削器類、楔形石器、剥片、石核など約6000点の石器と、隆起線文土器、微隆起線文土器、爪形文土器、多縄文系土器が出土したとされる（濵谷1990）。有茎尖頭器は隆線文系土器に関連付けられるであろうが、土器は多縄文系が主体である。有茎尖頭器に関する詳細が報告されていないため集成表には入れていないが、有茎尖頭器は4点出土したとされ、身部と茎部の境の屈曲部から弱く内湾して逆三角形の茎部のつき、身部と茎部が2：1程度となる形態のものが見られる。有茎尖頭器の分布が希薄な県中西部では貴重な発掘資料である。

小塚遺跡、甲之背遺跡、大鹿窪遺跡は県東部の有茎尖頭器密集地帯の周縁部に位置する。

小塚遺跡（芝川町教育委員会1995）は富士川の支流である芝川に面した丘陵上に位置し、富士川系ホルンフェルス製石器を主体とする石器製作跡が見つかっている。有茎尖頭器3点（第2図3～5）、未製品と考えられる加工の粗い尖頭器（6・7）や加工のある剥片が合わせて23点、その他削器、剥片、石核などが出土している。茎部の形態が分かる有茎尖頭器は2点だが、（風化のためそれほど明瞭には捉えられないが）逆刺は発達せず基部側で両側縁が「く」字形に屈曲し、そのまま逆三角形の基部につながる形態である。この2点は長さ4cmに満たない小形のものであるが、破片や未製品からはより大型の有茎尖頭器の存在が伺える。石器製作跡付近では早・前期など異なる時期の土器が混在して出土しているが、その中でも細隆線文土器（1・2）が草創期の石器群に伴うものと考えられている。

甲之背遺跡（中伊豆町教育委員会1996）は城川を臨む丘陵状に位置する。遺跡のある丘陵の基盤岩はガラス質黒色安山岩であり、城川でもその転礫が採取できるなどガラス質黒色安山岩原産地に立地した遺跡であり、主として同石材によって尖頭器等の石器製作が行われていたものである。資料は早期以降のものと混在して出土したとされているが、尖頭器、有茎尖頭器、石鏃、搔器、削器などが草創期の石器と考えられる。草創期の土器は隆線文土器（第2



第2図 小塚遺跡（1～7）・甲之背遺跡（8～14）・大鹿窪遺跡（15～28）出土遺物

図8・9)の他、爪形文と見られる小土器片が少数出土している。尖頭器(10)は未製品を含めて49点あり、器体中央付近に最大幅のある木葉形のものである。有茎尖頭器は15点あり、茎部の形態からは2類に分けられる。すなわち、①基部側で両側縁が内湾し、逆台形の茎部がつくもの(11・12)、②基部側で両側縁が「く」字形に屈曲し、そのまま逆三角形の茎部にとなるもの(13・14)である。茎部の形態の差はかつてから編年的な差と見なされることが多いが、この遺跡に関しては共伴しているようである。

大鹿窪遺跡(芝川町教育委員会2006)は芝川流域で、小塚遺跡より上流の地点に位置する。3-3C区の10号竪穴状遺構で草創期前半の資料が出土している。遺跡近傍に産する石材が石器群の主体をなしていた前記2遺跡に対し、この地点の石器群は黒曜石主体である。有茎尖頭器(第2図18～22)は小形の「花見山型」とされる形態で、全て黒曜石製である。茎部に対して身部が極端に短いもの(19)もあり、尖頭部が何らかの理由で再加工された可能

性がある。この他、黒曜石製の石鏃(23～27)、搔器(28)などが草創期の石器とされる。黒曜石の産地は一部しか分析がなされていないが、有茎尖頭器には柏崎産のもの(18)がある一方、石鏃には信州産のもの(23)がある。多量に出土している剥片類については詳細不明であり、有茎尖頭器が遺跡内の製作によるものかは判断できない。草創期の土器は隆線文土器(15～17)が主体で、押圧縄文土器、無文土器も出土しているが、有茎尖頭器は隆線文土器に伴うものと考えられる。隆線文土器は口縁部に押圧隆線、胴部に微隆線という構成のものが見られる。

現状をみる限り県内の有茎尖頭器は他地域と同様、隆線文系土器段階に位置づけられるようであるが、有茎尖頭器の型式と共に伴する土器・石器、詳細な編年的位置づけ等の探求は今後課題となっていくであろう。

利用石材については報告により基準が統一されていないので大雑把な把握しかできないが、数量的にまとまっている富士市・富士宮市以東の県東部地域についてまとめてお

くと、有茎尖頭器の石材名の記載のあった496点中、安山岩・玄武岩系の石材が199点（このうち、黒色〔緻密質／無斑晶質〕安山岩など、ほぼ確実にガラス質黒色安山岩に含まれるもの132点）、ホルンフェルス（「貞岩」も合算）200点であり、この2種で大半を占める。次いで黒曜石が50点で、原産地分析の事例が少ないと明瞭かではないが、信州産、神津島産、柏崎産が主に用いられていたようである。他に、凝灰岩系、珪質貞岩、チャートなどが見られる。稀少な例としては、桜畠上遺跡（第二東名）で瑪瑙製が1点ある。

富士川系ホルンフェルス、ガラス質黒色安山岩は後期旧石器時代以来県東部地域における主要な石材であるが、小塚遺跡、甲之背遺跡は、それぞれの石材の採取地点近傍であることを背景に立地していたものと考えられる。遺跡数が限定されているので断定的な結論は出せないが、原産地近傍に石器製作地点が立地し、愛鷹山麓等では一時的な滞在地点のみを残す移動頻度の高い居住パターンであったことが示唆される（中村2010）。ホルンフェルスと安山岩ことで有茎尖頭器の石材の8割を占めるという事実はこの地域で活動した集団が日常的な活動領域の近傍の石材に強く依存していたことを示す。

残る2割の石材に関してはホルンフェルス、ガラス質黒色安山岩とは別の供給パターンを考える必要がありそうだが、資料が限られており議論できる状況はない。但し、地域内の居住パターンの中では説明のつかない希少石材の存在は注目される。丸尾北遺跡では、破片であるが有茎尖頭器の可能性がある資料1点について、深浦八森山産黒曜石製であるとの分析結果が出ている（財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所2009d）。縄文時代草創期の遺跡では原産地の遠い石材が散発的に出土する事例が各地で散見されており、これもその中の1例と言える。また、珪質貞岩・硬質貞岩等も産出地はほとんど分かっておらず、同様の長距離移動を経たものが含まれる可能性が高い。こうした事例は広域にわたる石材の交換・流通を示すものと考えられ、当該期の地域・社会関係を明らかにする上で今後とも注視が必要であろう。

おわりに

今回の集成により、県内では東部を中心に500点以上の有茎尖頭器が出土していることが分かった。このうち実際に約280点が西暦2000年以降に報告されたものである。第二東名をはじめとする大規模発掘調査事業は県内では漸く終息を迎つつあるが、近年における資料の著しい増加が改めて浮き彫りとなった。

蓄積された資料を放置せず、過去の歴史の解明に役立てていくことは今後の我々の責務である。本研究は、県内では未だ不明確なところの多い縄文時代草創期像の端緒となるべきものである。

なお、本稿は執筆者で討議の上、「はじめに」と1を三好が、2と分布図の整理を柴田が、3を中村がまとめた。

引用文献（資料集成と重複するものは第1表にまとめた）

- 池谷信之 1996 「愛鷹・箱根山麓の縄文時代草創期の遺物」『愛鷹・箱根山麓の旧石器時代編年 収録集』
旧石器文化談話会 2008 『旧石器考古学』70
国立歴史民俗博物館 編集 2009 『企画展示 縄文はいつから!? 1万5千年前になにがおこったのか』財団法人歴史民俗博物館振興会
工藤雄一郎 2005 「本州島東半部における更新世終末期の考古学的編年と環境史との時間的対応関係」『第四紀研究』44-1
小林謙一 2008 「縄文時代の曆年代」『歴史のものさし』縄文時代の考古学2、同成社
 笹原芳郎 2010 「静岡県」『日本列島の旧石器時代遺跡—日本旧石器（先土器・岩宿）時代遺跡のデータベース—』日本旧石器学会
 濵谷昌彦 1990 「旗指遺跡第I地点」『静岡県史 資料編1』
 長井謙治 2009 『石器づくりの考古学』同成社
 中村雄紀 2010 「静岡県東部における縄文時代草創期後半から早期の石器群：石器群から見た居住パターンの変化について」『静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要』第16号
 藤山龍造 2007 「氷河時代終末期の狩猟活動論」『古代文化』58-3
 藤山龍造 2009 『環境変化と縄文社会の幕開け』雄山閣
 光石鳴巳 2008 「近畿地方における有茎尖頭器の基礎的研究」『旧石器考古学』70、旧石器文化談話会

第1-1表 静岡県の有茎尖頭器文献一覧

秋本真澄 1972 「駿豆地方における先土器時代遺物」『駿河小塚』芝川町教育委員会・沼津考古学研究所
秋本真澄 1976 「先土器時代遺物について」『陣場上・平畠遺跡』長泉町教育委員会
熱海市史編纂委員会 1967 『熱海市史 上巻』熱海市役所
伊東市教育委員会 1992 『東大室クズレ遺跡』
磐田市教育委員会 2009 『遠州広域水道用水供給事業寺谷淨水場築造工事等に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』
大仁町教育委員会 1969 『大仁町の旧石器・縄文文化』
大仁町教育委員会 1986 『仲道A遺跡』
掛川市史編纂委員会 1997 『掛川市史 上』
函南町教育委員会 1989 『函南スプリングゴルフ場用地内埋蔵文化財発掘調査報告（I）』
函南町教育委員会 2001 『上原遺跡』
加藤学園考古学研究所 2002 『佐野片平山遺跡群』
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 1985 『茶木畠遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第8集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 1994 『焼場遺跡（A地点）』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第55集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 1995 『下原遺跡I』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第64集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 1996a 『加茂ノ洞B遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第71集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 1996b 『焼場遺跡B地点・五百石遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第73集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 1997b 『北神馬土手遺跡他II』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第89集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 1997c 『道下遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第93集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 1997a 『八田原遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第87集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 1998a 『徳倉B遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第100集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 1998b 『桧林A遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第101集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2000a 『押出シ遺跡（遺物編）』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第119集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2003b 『大岡元長窪線関連遺跡I』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第138集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2003a 『鉄平遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第137集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2004 『上松沢平遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第145集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2005 『来光川遺跡群II』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第157集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2006 『西山遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第170集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2000b 『池田B遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第122集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2007a 『佛ヶ尾遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第175集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2007b 『向田A遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第178集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2008a 『元野遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第189集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2008b 『下ノ大窪遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第190集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2008c 『棚返遺跡・今里遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第191集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2008d 『老平遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第192集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2008e 『裾野市富沢・桃園の遺跡群』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第193集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2009a 『矢川上C遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第200集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2009b 『秋葉林遺跡I』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第207集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2009c 『桜畑上遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第208集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2009d 『丸尾北遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第210集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2009e 『イタドリA遺跡・イタドリB遺跡・イタドリC遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第211集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2010a 『細尾遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第222集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2010b 『沼津市井出・石川神ヶ沢の遺跡群』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第223集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2010c 『桜畑上遺跡I』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第224集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2010d 『的場古墳群・的場遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第227集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2010e 『天ヶ沢遺跡・古木戸A遺跡・古木戸B遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第228集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2010f 『下高原遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第229集
財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 2010g 『梅ノ木沢遺跡』静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告 第233集
笹津海祥・瀬川裕市郎・関野哲夫・杉山治夫 1976 「清水柳遺跡の土器と石器」『沼津市歴史民俗資料館紀要』1、沼津市歴史民俗資料館

第1-2表 静岡県の有茎尖頭器文献一覧

島田市教育委員会	1976	『旗指古窯址群』
芝川町教育委員会	1995	『小塚遺跡』
芝川町教育委員会	2006	『大鹿窪遺跡・窪B遺跡』
裾野市	1992	『裾野市史』第1巻
駿河考古学会	1971	『上長窪遺跡群』
瀬川裕市郎	1992	「有舌尖頭器」『静岡県史 資料編3』
中伊豆町教育委員会	1996	『甲之背遺跡』
長泉町	1971	『長泉町郷土誌』
長泉町教育委員会	1976	『陣場上・平畦遺跡』
長泉町教育委員会	1981	『八分平B・富士石遺跡』
長泉町教育委員会	1986	『中尾・イラウネ・野台』
長泉町教育委員会	1990	『上山地遺跡』
長泉町教育委員会	1994	『平畦遺跡・陣場上B遺跡』
長泉町教育委員会	2001	『木戸遺跡・中見代遺跡・東野II橋下遺跡』
長泉町教育委員会	2006	『追平B遺跡』
沼津市教育委員会	1980	『西大曲遺跡発掘調査概報』沼津市文化財調査報告 第20集
沼津市教育委員会	1980	『長井崎遺跡発掘調査報告書』沼津市埋蔵文化財発掘調査報告書 第18集
沼津市教育委員会	1982	『一般国道246号線裾野バイパス埋蔵文化財発掘調査報告書』
沼津市教育委員会	1988	『土手上・中見代第II・第III遺跡発掘調査報告書』沼津市埋蔵文化財発掘調査報告書 第43集
沼津市教育委員会	1990a	『清水柳北遺跡発掘調査報告書その2』沼津市文化財調査報告 第48集
沼津市教育委員会	1990b	『広合(b・c・d区)・広合南遺跡発掘調査報告書』沼津市文化財調査報告書 第49集
沼津市教育委員会	1991	『広合遺跡(e区)・二ツ洞遺跡(a区)発掘調査報告書』沼津市文化財調査報告書 第52集
沼津市教育委員会	1992	『尾上イラウネ遺跡発掘調査報告書II』沼津市文化財調査報告 第53集
沼津市教育委員会	1993	『二ツ洞遺跡(b・c区)発掘調査報告書』沼津市文化財調査報告書 第54集
沼津市教育委員会	1994	『大谷津遺跡・井手丸山古墳発掘調査報告書』沼津市文化財調査報告書 第55集
沼津市教育委員会	1995	『土手上遺跡(b・c区)発掘調査報告書』沼津市文化財調査報告書 第56集
沼津市教育委員会	1996b	『柏葉尾遺跡発掘調査報告書』沼津市文化財調査報告書 第61集
沼津市教育委員会	1996a	『西洞遺跡(a区)・葛原沢遺跡発掘調査報告書』沼津市埋蔵文化財発掘調査報告書 第59集
沼津市教育委員会	1999	『西洞(b区-1)遺跡発掘調査報告書』沼津市埋蔵文化財発掘調査報告書 第69集
沼津市教育委員会	2000	『鳥谷アラク遺跡発掘調査報告書』沼津市文化財調査報告 第75集
沼津市教育委員会	2001	『葛原沢第IV遺跡(a・b区)発掘調査報告書1』沼津市文化財調査報告書 第77集
沼津市教育委員会	2002	『西洞(c・d区)遺跡発掘調査報告書』沼津市埋蔵文化財発掘調査報告書 第78集
沼津市教育委員会	2005	『埋蔵文化財調査報告書5』沼津市文化財調査報告書 第87集
富士宮市教育委員会	1981	『月の輪遺跡群』富士宮市文化財調査報告書 第1集
富士宮市教育委員会	1983	『若宮遺跡』富士宮市文化財調査報告書 第6集
富士宮市教育委員会	1985	『上石敷遺跡』富士宮市文化財調査報告書 第8集
富士宮市教育委員会	1997	『滝戸遺跡』富士宮市文化財調査報告書 第23集
三島市教育委員会	1987a	『片平山遺跡群I』
三島市教育委員会	1987b	『北原菅遺跡』
三島市教育委員会	1990	『三島スプリングスC.Cゴルフ場内埋蔵文化財発掘調査報告書I』
三島市教育委員会	1992	『三島スプリングスC.Cゴルフ場内埋蔵文化財発掘調査報告書II』
三島市教育委員会	1994	『五輪・觀音洞・元山中・陰洞I』
三島市教育委員会	1994	『五輪・觀音洞・元山中・陰洞II』
三島市教育委員会	1998	『中村分遺跡 天台B遺跡 台崎C遺跡』
三島市教育委員会	1999	『初音ヶ原遺跡』
三島市教育委員会	2002	『初音ヶ原B遺跡 第4地点』
三島市教育委員会	2004	『南山D遺跡 東山遺跡 香音II-D遺跡 奥山遺跡』
三島市教育委員会	2009	『三島市埋蔵文化財発掘調査報告XIV』

第2-1表 静岡県の有茎尖頭器集成

遺跡名	所 在	遺物番号	石 材	長さ	幅	厚さ	重さ	備 考	文 献
大越遺跡	熱海市大越	第1図	玄武岩質	8.48	1.79	0.54	—	実測図より計測	熱海市史1967
東大室クズレ遺跡	伊東市富戸	第132図16	黒曜石	2.95	2.16	0.80	—	実測図より計測	伊東市教委1992
焼場遺跡A地点	三島市川原ヶ谷	第71図1	黒色緻密安山岩	5.3	1.95	0.55	5.5		静岡県理文1994
焼場遺跡A地点	三島市川原ヶ谷	第71図2	黒色緻密安山岩	7.8	1.35	0.55	5.1		静岡県理文1994
焼場遺跡A地点	三島市川原ヶ谷	第71図3	黒色緻密安山岩	1.85	1.55	0.5	1.8		静岡県理文1994
焼場遺跡A地点	三島市川原ヶ谷	第71図4	黒曜石	1.7	1.8	0.5	1.2		静岡県理文1994
焼場遺跡B地点	三島市川原ヶ谷五百石	第56図45	緻密安山岩	2.20	1.10	0.40	1.10		静岡県理文1996b
焼場遺跡B地点	三島市川原ヶ谷五百石	第56図46	黒曜石	1.75	0.90	0.45	0.50		静岡県理文1996b
焼場遺跡B地点	三島市川原ヶ谷五百石	第56図47	緻密安山岩	2.20	1.60	0.55	1.80		静岡県理文1996b
焼場遺跡B地点	三島市川原ヶ谷五百石	第56図49	緻密安山岩	6.10	1.80	0.75	6.50		静岡県理文1996b
陰洞C遺跡	三島市川原ヶ谷陰洞	第201図1	玄武岩	7.62	1.48	0.50	5.05		三島市教委1994
観音洞G遺跡	三島市観音洞	第98図1	玄武岩	7.53	1.49	0.49	5.35		三島市教委1994
観音洞B遺跡	三島市観音洞	図版96-1	頁岩	—	—	—	—	写真図版のみ	三島市教委1994
北原首遺跡	三島市北原首	第21図1	—	7.31	1.33	0.49	—	実測図より計測	三島市教委1987b
佐野片平山G遺跡第1地区	三島市佐野片平山	第90図3	緻密黒色安山岩	5.34	1.67	0.73	—	実測図より計測	加藤学園考査2002
佐野片平山G遺跡第1地区	三島市佐野片平山	第90図4	緻密黒色安山岩	3.40	1.60	0.64	—	実測図より計測	加藤学園考査2002
佐野片平山G遺跡第1地区	三島市佐野片平山	第90図5	緻密黒色安山岩	4.81	2.12	0.77	—	実測図より計測	加藤学園考査2002
佐野片平山G遺跡第1地区	三島市佐野片平山	第90図6	緻密黒色安山岩	4.98	1.64	0.71	—	実測図より計測	加藤学園考査2002
佐野片平山G遺跡第1地区	三島市佐野片平山	第90図7	緻密黒色安山岩	9.27	1.51	0.85	—	実測図より計測	加藤学園考査2002
佐野片平山G遺跡第1地区	三島市佐野片平山	第90図8	頁岩	5.34	1.42	0.80	—	実測図より計測	加藤学園考査2002
佐野片平山G遺跡第2地区	三島市佐野片平山	第97図1	硬質凝灰岩	6.59	1.58	0.85	—	実測図より計測	加藤学園考査2002
陣笠山A遺跡	三島市佐野片平山	第154図4	緻密黒色安山岩	2.9	1.9	0.4	—	実測図より計測	加藤学園考査2002
加茂ノ洞B遺跡	三島市沢地河洞	第22図48	黒色緻密安山岩	7.05	1.30	0.45	3.7		静岡県理文1996a
加茂ノ洞B遺跡	三島市沢地河洞	第22図49	玄武岩	5.20	1.45	0.90	5.7		静岡県理文1996a
加茂ノ洞B遺跡	三島市沢地河洞	第22図50	頁岩	4.30	1.55	0.55	2.9		静岡県理文1996a
加茂ノ洞B遺跡	三島市沢地河洞	第22図51	頁岩	3.00	1.45	0.50	1.8		静岡県理文1996a
加茂ノ洞B遺跡	三島市沢地河洞	第22図53	黒色緻密安山岩	4.80	2.05	0.80	6.3		静岡県理文1996a
加茂ノ洞B遺跡	三島市沢地河洞	第22図54	黒色緻密安山岩	2.80	2.10	1.10	7.0		静岡県理文1996a
八田原遺跡	三島市沢地八田原	第45図220	ガラス質黑色安山岩	5.0	1.7	0.6	4.5		静岡県理文1997a
八田原遺跡	三島市沢地八田原	第46図221	頁岩	4.6	1.55	0.35	2.2		静岡県理文1997a
八田原遺跡	三島市沢地八田原	第46図222	頁岩	4.7	1.4	0.45	3.24		静岡県理文1997a
八田原遺跡	三島市沢地八田原	第46図223	ガラス質黑色安山岩	8.5	1.7	0.45	6.0		静岡県理文1997a
八田原遺跡	三島市沢地八田原	第46図224	頁岩	5.6	1.9	0.65	6.5		静岡県理文1997a
八田原遺跡	三島市沢地八田原	第46図225	ガラス質黑色安山岩	5.8	1.8	0.4	3.5		静岡県理文1997a
八田原遺跡	三島市沢地八田原	第46図226	頁岩	3.4	2.1	0.6	2.2		静岡県理文1997a
八田原遺跡	三島市沢地八田原	第46図227	ガラス質黑色安山岩	3.9	2.35	0.7	5.8		静岡県理文1997a
八田原遺跡	三島市沢地八田原	第46図228	ガラス質黑色安山岩	3.05	1.7	0.8	2.65		静岡県理文1997a
八田原遺跡	三島市沢地八田原	第46図229	ガラス質黑色安山岩	5.2	2.1	0.85	8.2		静岡県理文1997a
八田原遺跡	三島市沢地八田原	第46図230	ガラス質黑色安山岩	4.5	2.0	0.8	6.55		静岡県理文1997a
南山D遺跡 第1地点	三島市玉沢	第47図1	ガラス質黑色安山岩	(2.50)	1.30	0.30	(0.65)		三島市教委2004
南山D遺跡 第2地点	三島市玉沢	第69図1	ホルンフェルス	(5.30)	1.30	0.40	(2.50)		三島市教委2004
庚申松遺跡	三島市玉沢	第80図1	—	(7.20)	1.70	0.50	—	実測図より計測	秋本1976
御座松遺跡	三島市玉沢	第80図5	—	5.40	1.90	0.80	—	実測図より計測	秋本1976
山神社遺跡	三島市塚原新田	第16図8	黒曜石(中部高地)	3.28	2.11	0.62	2.59	黒曜石产地は肉眼鑑定、観察表では石鏡(本文では有舌尖頭器)	三島市教委2009
塚原初音ヶ原遺跡	三島市塚原新田	第14図16	ホルンフェルス	5.71	1.60	0.55	5.26		三島市教委2009
北原遺跡	三島市塚原新田	第80図7	—	(4.90)	1.10	0.40	—	実測図より計測	秋本1976
ナーゴ山遺跡	三島市萩ヶ窪	第80図3	—	(6.20)	2.00	0.80	—	実測図より計測	秋本1976
徳倉B遺跡	三島市徳倉	第69図29	ガラス質黑色安山岩	(52.5)	(16.0)	(3.0)	(4.0)		静岡県理文1998a
徳倉片平山B遺跡	三島市徳倉片平山	第20図36	安山岩	1.1	1.25	0.45	3.63	旧・片平山遺跡群No.6地点	三島市教委1987a
徳倉片平山B遺跡	三島市徳倉片平山	第28図14	黒曜石	4.35	1.9	0.55	4.05	旧・片平山遺跡群No.9地点	三島市教委1987a
ソノエンサレB遺跡	三島市徳倉片平山	第81図1	玄武岩	6.03	1.21	0.43	3.65		三島市教委1990
ソノエンサレB遺跡	三島市徳倉片平山	第81図2	玄武岩	4.97	0.61	0.69	6.30		三島市教委1990
徳倉片平山K遺跡	三島市徳倉片平山	第52図1	黒曜石	3.07	1.61	0.77	2.95		三島市教委1990
徳倉片平山K遺跡	三島市徳倉片平山	第52図2	玄武岩	4.43	1.33	0.49	3.20		三島市教委1990
徳倉片平山L遺跡	三島市徳倉片平山	第30図1	玄武岩	6.39	1.92	0.67	7.55		三島市教委1990
徳倉片平山L遺跡	三島市徳倉片平山	第30図2	玄武岩	3.90	1.54	0.67	3.15		三島市教委1990
中村C遺跡	三島市徳倉片平山	第59図1	玄武岩	6.70	2.21	0.40	5.15		三島市教委1992
中村C遺跡	三島市徳倉片平山	第59図2	玄武岩	4.55	1.33	0.40	2.65		三島市教委1992
中村C遺跡	三島市徳倉片平山	第59図3	黒曜石	4.36	1.92	0.82	—	実測図より計測	三島市教委1992
中村C遺跡	三島市徳倉片平山	第59図4	玄武岩	2.22	1.70	0.32	1.05		三島市教委1992
中村C遺跡	三島市徳倉片平山	第59図5	玄武岩	3.50	1.88	0.30	1.40		三島市教委1992
徳倉片平山J遺跡	三島市徳倉片平山	第112図1	玄武岩	3.75	1.55	0.44	2.55		三島市教委1992
道下遺跡	三島市谷田	第20図1	—	5	1.8	0.48	—	厚さ・重さは実測図より計測	静岡県理文1997c
桧林A遺跡	三島市谷田石神	第48図1	ホルンフェルス	8.6	1.8	0.40	7.4		静岡県理文1998b
桧林A遺跡	三島市谷田石神	第48図2	ガラス質黑色安山岩	6.5	1.5	0.35	6.3		静岡県理文1998b
桧林A遺跡	三島市谷田石神	第48図3	細粒安山岩	7.2	1.6	0.36	5.5		静岡県理文1998b
桧林A遺跡	三島市谷田石神	第48図4	ホルンフェルス	6.3	2.0	0.53	7.3		静岡県理文1998b
桧林A遺跡	三島市谷田石神	第48図5	ガラス質黑色安山岩	5.6	1.9	0.54	5.8		静岡県理文1998b
桧林A遺跡	三島市谷田石神	第48図6	ガラス質黑色安山岩	5.1	1.9	0.46	6.0		静岡県理文1998b
桧林A遺跡	三島市谷田石神	第48図7	ガラス質黑色安山岩	4.75	1.4	0.60	3.7		静岡県理文1998b
桧林A遺跡	三島市谷田石神	第48図8	ガラス質黑色安山岩	4.75	1.5	0.60	4.1		静岡県理文1998b
桧林A遺跡	三島市谷田石神	第48図9	ガラス質黑色安山岩	4.7	1.35	0.40	2.2		静岡県理文1998b
桧林A遺跡	三島市谷田石神	第48図10	細粒安山岩	6.8	1.3	0.63	7.3	植刃で記載	静岡県理文1998b
初音ヶ原B遺跡第3地点	三島市谷田大原	第228図2	ホルンフェルス	12.50	1.25	0.62	8.50		三島市教委1999
初音ヶ原B遺跡第3地点	三島市谷田大原	第228図5	ガラス質黑色安山岩	7.77	2.23	0.77	13.45		三島市教委1999
初音ヶ原B遺跡第3地点	三島市谷田大原	第229図6	ガラス質黑色安山岩	6.68	2.14	0.83	11.50		三島市教委1999
初音ヶ原B遺跡第3地点	三島市谷田大原	第229図8	ガラス質黑色安山岩	5.40	1.54	0.39	3.55		三島市教委1999
初音ヶ原B遺跡第4地点	三島市谷田大原	第10図8	珪質頁岩(灰色)	5.96	1.22	0.30	2.80		三島市教委2002
押出シ遺跡	三島市谷田押出シ	第101図6	無斑晶質安山岩	(5.19)	1.33	0.41	(3.60)		静岡県理文2000a
押出シ遺跡	三島市谷田押出シ	第101図7	ガラス質黑色安山岩	(4.25)	1.77	0.63	(4.80)		静岡県理文2000a
初音ヶ原A遺跡第2地点	三島市谷田初音ヶ原	第228図3	ガラス質黑色安山岩	4.35	1.23	0.39	3.35		三島市教委1999
初音ヶ原A遺跡第2地点	三島市谷田初音ヶ原	第228図4	ガラス質黑色安山岩	3.12	1.50	0.44	2.60		三島市教委1999
初音ヶ原A遺跡第2地点	三島市谷田初音ヶ原	第229図7	ホルンフェルス	5.88	1.74	0.71	8.20		三島市教委1999
初音ヶ原A遺跡第2地点	三島市谷田初音ヶ原	第229図9	細粒安山岩	5.58	1.80	0.48	4.20		三島市教委1999
初音ヶ原A遺跡第2地点	三島市谷田初音ヶ原	第229図10	ガラス質黑色安山岩	4.76	1.55	0.40	2.95		三島市教委1999
下原遺跡	三島市塚原新田下原	国22-1	黒色緻密安山岩	(0.54)	(2.0)	(0.6)	(6)		静岡県理文1995

第2-2表 静岡県の有茎尖頭器集成

遺跡名	所 在	遺物番号	石 材	長さ	幅	厚さ	重さ	備 考	文 献
下原遺跡	三島市塚原新田下原	国22-2	頁岩	(3.75)	(2.05)	(0.75)	(6.1)		静岡県理文1995
下原遺跡	三島市塚原新田下原	国22-3	頁岩	(3.7)	(2.2)	(0.9)	(8.5)		静岡県埋文1995
下原遺跡	三島市塚原新田下原	国22-5	凝灰岩質頁岩	(4.75)	(1.8)	(0.65)	(4.1)		静岡県理文1995
下原遺跡	三島市塚原新田下原	国22-6	黒色緻密安山岩	2.7	1.6	0.6	1.7		静岡県埋文1995
台崎C遺跡	三島市大谷田台崎	第180図6	凝灰岩系	7.46	2.03	0.63	10.00		三島市教委1998
中村分遺跡	三島市大谷田台崎	第81図15	ガラス質黒色安山岩	3.65	1.50	0.50	1.35	石鑿で報告	三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第159図1	ガラス質黒色安山岩	4.85	1.00	0.40	1.50		三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第159図2	黒曜石	6.30	1.23	0.50	3.20		三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第159図3	ガラス質黒色安山岩	6.60	1.50	0.50	4.05		三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第159図4	ガラス質黒色安山岩	5.20	0.90	0.30	1.50		三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第159図5	ガラス質黒色安山岩	5.11	1.10	0.40	2.25		三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第159図6	ガラス質黒色安山岩	4.40	1.34	0.40	2.90		三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第159図7	ガラス質黒色安山岩	6.20	1.31	0.50	4.35		三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第159図8	ガラス質黒色安山岩	5.80	1.40	0.40	4.25		三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第160図9	ガラス質黒色安山岩	4.22	1.25	0.40	1.95		三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第160図10	頁岩	3.50	1.20	0.30	0.85		三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第160図11	ガラス質黒色安山岩	5.90	2.00	0.54	5.70		三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第160図12	ガラス質黒色安山岩	5.16	1.57	0.34	3.90		三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第160図13	ガラス質黒色安山岩	4.53	1.44	0.45	3.50		三島市教委1998
天台B遺跡	三島市大谷田台崎	第160図14	ガラス質黒色安山岩	3.25	1.25	0.34	1.85		三島市教委1998
大坂田場A遺跡	田方郡函南町桑原大坂田場	第78図1	黒色緻密安山岩	5.16	2.21	0.48	-	実測図より計測	函南町教委1989
大坂田場A遺跡	田方郡函南町桑原大坂田場	第78図2	黒色緻密安山岩	3.75	1.35	0.49	-	実測図より計測	函南町教委1989
柳沢B遺跡	田方郡函南町桑原柳沢	第10図85	黒色緻密安山岩	(7.7)	1.6	0.5	-	実測図より計測	函南町教委2001
上原遺跡	田方郡函南町桑原上原	第165図1	ガラス質黒色安山岩	5.28	1.25	0.41	-	実測図より計測	函南町教委2001
上原遺跡	田方郡函南町桑原上原	第165図2	ガラス質黒色安山岩	4.38	1.59	0.60	-	実測図より計測	函南町教委2001
上原遺跡	田方郡函南町桑原上原	第165図3	チャート	3.70	1.45	0.40	-	実測図より計測	函南町教委2001
上原遺跡	田方郡函南町桑原上原	第165図4	ガラス質黒色安山岩	2.59	1.38	0.61	-	実測図より計測	函南町教委2001
上原遺跡	田方郡函南町桑原上原	第165図5	ガラス質黒色安山岩	3.99	1.36	0.52	-	実測図より計測	函南町教委2001
五反田遺跡	田方郡函南町仁田	第136図1	ガラス質黒色安山岩	2.95	1.95	-	4.0	-	静岡県理文2005
五反田遺跡	田方郡函南町仁田	第136図2	黒曜石	3.95	1.8	-	4.6	-	静岡県理文2005
仲道A遺跡	伊豆の国市三福仲道	第55図8	頁岩	1.65	1.67	0.45	1.05	-	大仁町教委1986
馬の背遺跡	伊豆の国市中山馬の背	25	-	9.9	1.6	0.8	-	実測図より計測	大仁町教委1969
土沢遺跡	伊豆の国市中山土沢	国版4上	-	-	-	-	-	-	大仁町教委1969
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第44図51	黒色緻密安山岩	4.15	2.40	0.86	7.50	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第44図52	黒色緻密安山岩	3.04	2.12	0.83	4.53	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第44図53	頁岩	3.08	1.26	0.48	1.54	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第44図54	安山岩	2.24	1.35	0.60	1.39	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第44図55	安山岩	4.37	1.79	0.61	5.42	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第44図56	黒色緻密安山岩	4.37	3.50	0.93	11.51	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第44図57	黒色緻密安山岩	3.67	1.36	5.50	2.90	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第44図58	黒色緻密安山岩	4.61	2.12	0.83	8.87	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第44図59	黒色緻密安山岩	3.78	2.53	0.77	7.48	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第44図60	黒色緻密安山岩	2.16	1.75	0.39	1.37	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第44図61	黒色緻密安山岩	2.01	1.38	0.39	0.89	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第44図62	黒色緻密安山岩	2.02	1.89	0.72	2.06	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第45図63	安山岩	4.89	1.36	0.57	4.01	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第45図64	黒色緻密安山岩	3.22	1.50	0.51	3.15	-	中伊豆町教委1996
甲之背遺跡	伊豆市(旧中伊豆町)甲之背	第45図65	安山岩	6.46	2.41	1.06	14.71	-	中伊豆町教委1996
佛ヶ尾遺跡	裾野市大畑	第25図1	チャート	8.3	2.1	0.4	8.2	-	静岡県理文2007a
下ノ大窪遺跡	裾野市大畑下ノ大窪	第245図1	ホルンフェルス	(6.90)	1.41	0.50	3.3	先端部欠	静岡県理文2008b
下ノ大窪遺跡	裾野市大畑下ノ大窪	第245図2	ホルンフェルス	(3.40)	1.66	0.60	3.8	先端部欠	静岡県理文2008b
下ノ大窪遺跡	裾野市大畑下ノ大窪	第246図50	ガラス質黒色安山岩	4.90	2.23	0.80	7.7	-	静岡県理文2008b
老平遺跡	裾野市大畑老平	第82図1	ホルンフェルス	(2.64)	1.20	0.47	1.3	先端部欠	静岡県理文2008d
老平遺跡	裾野市大畑老平	第82図2	黒曜石(瓢箪星ヶ台)	(2.88)	1.50	0.5	1.2	先端部・基部欠	静岡県理文2008d
老平遺跡	裾野市大畑老平	第82図3	黒曜石(神津島恩馳島)	(5.04)	1.80	0.65	5.4	先端部・基部欠	静岡県理文2008d
老平遺跡	裾野市大畑老平	第82図4	ガラス質黒色安山岩	(4.97)	1.81	0.8	5.5	先端部欠	静岡県理文2008d
塚松遺跡	裾野市北野富窪	第87図5	ガラス質黒色安山岩	(6.2)	1.6	0.4	4.52	先端部・基部欠	静岡県理文2008e
塚松遺跡	裾野市北野富窪	第87図6	輝石質頁岩	(4.4)	1.1	0.4	2.29	先端部欠	静岡県理文2008e
塚松遺跡	裾野市北野富窪	第87図7	ガラス質黒色安山岩	(3.2)	1.7	0.6	2.85	先端部・基部欠	静岡県理文2008e
塚松遺跡	裾野市北野富窪	第87図8	ガラス質黒色安山岩	(3.7)	1.6	0.7	2.86	先端部欠	静岡県理文2008e
塚松遺跡	裾野市北野富窪	第87図9	ホルンフェルス	(7.9)	2.0	0.6	10.29	先端部・基部欠	静岡県理文2008e
塚松遺跡	裾野市北野富窪	第87図10	輝石安山岩	5.5	0.6	1.5	4.65	-	静岡県理文2008e
塚松遺跡	裾野市北野富窪	第87図11	細粒安山岩	(5.1)	2.0	0.7	6.37	先端部欠	静岡県理文2008e
塚松遺跡	裾野市北野富窪	第87図12	ホルンフェルス	5.5	1.6	0.6	5.14	-	静岡県理文2008e
棚返遺跡	裾野市今里棚返	第72図1	ホルンフェルス	4.18	1.88	0.69	5.4	-	静岡県理文2008c
尾畠遺跡	裾野市桃園尾畠	第5図1	チャート	6.1	2.3	0.5	-	実測図より計測	裾野市1992
細野沢遺跡	裾野市千福が丘	第5図2	頁岩	5.9	2.4	0.5	-	実測図より計測	裾野市1992
細尾遺跡	駿東郡長泉町上長窪東細尾	第143図361	輝石安山岩	5.74	1.76	0.62	5.04	-	静岡県理文2010a
細尾遺跡	駿東郡長泉町上長窪東細尾	第143図362	ガラス質黒色安山岩	(6.53)	1.72	0.52	5.84	-	静岡県理文2010a
細尾遺跡	駿東郡長泉町上長窪東細尾	第143図363	ホルンフェルス	6.61	1.12	0.42	3.22	-	静岡県理文2010a
細尾遺跡	駿東郡長泉町上長窪東細尾	第143図364	ホルンフェルス	(2.31)	1.98	0.62	3.78	-	静岡県理文2010a
細尾遺跡	駿東郡長泉町上長窪東細尾	第143図365	細粒安山岩	(5.00)	1.89	0.74	6.74	-	静岡県理文2010a
細尾遺跡	駿東郡長泉町上長窪東細尾	第143図366	ホルンフェルス	(4.29)	1.08	0.32	1.96	-	静岡県理文2010a
細尾遺跡	駿東郡長泉町上長窪東細尾	第143図367	ガラス質黒色安山岩	(4.12)	1.48	0.71	4.49	-	静岡県理文2010a
細尾遺跡	駿東郡長泉町上長窪東細尾	第143図368	ホルンフェルス	4.79	1.51	0.52	4.16	-	静岡県理文2010a
細尾遺跡	駿東郡長泉町上長窪東細尾	第143図369	ホルンフェルス	(3.70)	1.46	0.74	3.55	-	静岡県理文2010a
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第86図12	黒曜石	2.96	1.91	0.45	1.6	-	静岡県理文2000b
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第86図13	ガラス質黒色安山岩	(2.72)	1.81	0.42	1.4	-	静岡県理文2000b
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第86図14	黒曜石	3.62	1.90	0.53	2.3	-	静岡県理文2000b
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第86図15	ホルンフェルス	4.20	1.45	0.63	2.9	-	静岡県理文2000b
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第86図16	ガラス質黒色安山岩	(4.16)	1.67	0.67	3.7	-	静岡県理文2000b
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第86図17	ガラス質黒色安山岩	(4.04)	2.13	0.58	3.8	-	静岡県理文2000b
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第87図18	ホルンフェルス	(3.84)	1.56	0.55	3.1	-	静岡県理文2000b
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第87図19	ガラス質黒色安山岩	(3.34)	1.14	0.41	2.2	-	静岡県理文2000b
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第87図20	ガラス質黒色安山岩	(3.40)	1.09	0.41	1.8	-	静岡県理文2000b
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第87図21	ホルンフェルス	(5.63)	1.46	0.60	7.0	-	静岡県理文2000b
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第87図22	ホルンフェルス	(3.25)	1.00	0.55	1.9	-	静岡県理文2000b

第2-3表 静岡県の有茎尖頭器集成

遺跡名	所在	遺物番号	石材	長さ	幅	厚さ	重さ	備考	文献
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第87図23	ホルンフェルス	(3.72)	1.62	0.52	3.6		静岡県埋文2000b
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第87図24	ホルンフェルス	6.68	1.74	0.51	5.8		静岡県埋文2000b
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第87図25	ホルンフェルス	(7.47)	1.55	0.83	10.9		静岡県埋文2000b
池田B遺跡	駿東郡長泉町鉄平	第87図26	ホルンフェルス	(3.39)	1.30	0.62	3.9		静岡県埋文2000b
追平B遺跡	駿東郡長泉町東野八分平	第82図1	安山岩	6.9	2.0	0.7	9.01	実測図より計測	長泉町教委2006
追平B遺跡	駿東郡長泉町東野八分平	第82図2	安山岩	(5.3)	1.7	0.4	3.71	実測図より計測	長泉町教委2006
追平B遺跡	駿東郡長泉町東野八分平	第82図3	安山岩	3.4	1.7	0.5	2.11	実測図より計測	長泉町教委2006
追平B遺跡	駿東郡長泉町東野八分平	第82図4	ホルンフェルス	8.3	1.4	0.7	6.48	実測図より計測、尖頭器として報告、基部欠	長泉町教委2006
追平B遺跡	駿東郡長泉町東野八分平	団なし	ホルンフェルス	—	—	—	5.98	遺物番号407	長泉町教委2006
平畦遺跡A地点	駿東郡長泉町下長窪平畦	第13図11	頁岩	4.80	1.30	0.70	3.54		長泉町教委1994
平畦遺跡A地点	駿東郡長泉町下長窪	第13図12	頁岩	(9.40)	1.80	0.70	10.49	基部欠	長泉町教委1994
平畦遺跡B地点	駿東郡長泉町下長窪	第41図10	頁岩	(3.50)	1.30	0.50	2.91		長泉町教委1994
平畦遺跡B地点	駿東郡長泉町下長窪	第41図11	安山岩	4.40	1.80	0.60	4.51		長泉町教委1994
茶木畠遺跡	駿東郡長泉町下長窪	第15図8	玄武岩	(3.4)	1.5	0.6	3.7		静岡県埋文1985
茶木畠遺跡	駿東郡長泉町下長窪	第15図9	頁岩	(4.4)	1.6	0.4	6.9		静岡県埋文1985
茶木畠遺跡	駿東郡長泉町下長窪	第15図10	玄武岩	7.5	1.8	0.7	3.2		静岡県埋文1985
茶木畠遺跡	駿東郡長泉町下長窪	第15図11	珪質頁岩	5.8	1.9	0.4	6.9		静岡県埋文1985
茶木畠遺跡	駿東郡長泉町下長窪	第15図12	玄武岩	6.0	1.4	0.5	7.9		静岡県埋文1985
茶木畠遺跡	駿東郡長泉町下長窪	第15図13	玄武岩	(6.1)	1.5	0.6	4.2		静岡県埋文1985
茶木畠遺跡	駿東郡長泉町下長窪	第15図14	玄武岩	(4.7)	1.5	0.6	6.6		静岡県埋文1985
陣場上	駿東郡長泉町下長窪陣場	第26図4	頁岩	5.7	1.3	0.5	3.4		長泉町教委1976
陣場上	駿東郡長泉町下長窪陣場	第26図5	安山岩系	(4.8)	1.1	0.7	4.40		長泉町教委1976
陣場上B遺跡	駿東郡長泉町下長窪陣場	第162図48	頁岩	9.60	1.40	0.60	7.93		長泉町教委1994
陣場上B遺跡	駿東郡長泉町下長窪陣場	第162図49	頁岩	7.25	1.85	0.75	9.93		長泉町教委1994
陣場上B遺跡	駿東郡長泉町下長窪陣場	第162図50	頁岩	(4.10)	1.60	0.45	3.63		長泉町教委1994
陣場上B遺跡	駿東郡長泉町下長窪陣場	第162図51	細粒凝灰岩	3.50	1.00	0.30	1.27		長泉町教委1994
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第39図84	ガラス質黒色安山岩	3.51	1.82	0.61	2.9		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第39図85	ガラス質黒色安山岩	3.75	2.00	0.60	2.5		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図86	ホルンフェルス	(7.84)	1.40	0.62	8.1		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図87	ホルンフェルス	(5.00)	1.75	0.75	6.9		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図88	ホルンフェルス	(6.46)	1.89	0.74	8.6		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図89	ホルンフェルス	(5.74)	1.65	0.71	7.5		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図90	ホルンフェルス	4.94	1.12	0.62	3.3		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図91	ホルンフェルス	4.12	1.35	0.62	2.9		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図92	ホルンフェルス	(4.38)	1.11	0.54	3.1		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図93	ホルンフェルス	(6.42)	1.73	0.48	3.3		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図94	ホルンフェルス	(6.53)	1.68	0.48	5.6		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図95	ホルンフェルス	(5.45)	1.40	0.68	5.8		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図96	ホルンフェルス	(4.18)	1.58	0.58	4.2		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図97	ホルンフェルス	(2.35)	(1.20)	0.38	0.9	基部欠	静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図98	ガラス質黒色安山岩	(3.40)	1.80	0.60	3.3		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図99	ガラス質黒色安山岩	(3.40)	2.00	0.65	3.8		静岡県埋文2003a
鉄平遺跡	駿東郡長泉町下長窪鉄平	第40図100	ホルンフェルス	(3.14)	1.64	0.45	2.9		静岡県埋文2003a
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第25図81	細粒凝灰岩	6.10	1.90	0.55	5.68		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図75	安山岩	(7.70)	2.30	0.75	12.72		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図76	安山岩	(2.60)	1.05	3.05	1.05		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図77	安山岩	(6.30)	1.50	0.70	6.12		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図78	頁岩	(4.80)	1.50	0.70	5.00		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図79	頁岩	(5.10)	1.40	0.70	5.03		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図80	頁岩	(4.00)	1.50	0.50	2.87		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図81	安山岩	(6.70)	2.10	0.50	6.37		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図82	頁岩	(8.00)	1.80	0.55	9.03		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図83	頁岩	(5.70)	1.90	0.80	6.63		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図84	頁岩	(4.10)	1.15	0.30	1.79		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図85	頁岩	(4.00)	1.40	0.40	2.75		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図86	頁岩	(4.00)	1.40	0.50	3.23		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図87	頁岩	(3.50)	1.30	0.50	3.33		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図88	頁岩	(2.40)	1.20	0.50	1.75		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図89	黑曜石	(2.95)	1.20	0.40	1.16		長泉町教委2001
中見代遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第65図90	安山岩	(4.15)	(1.75)	4.50	3.91		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第126図285	頁岩	5.40	2.00	0.50	6.20		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第178図148	安山岩	(3.90)	1.90	0.68	4.81		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第178図149	安山岩	(6.50)	2.30	0.67	7.63		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第179図150	安山岩	(8.40)	2.00	0.66	11.76		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第179図151	安山岩	(5.50)	1.70	0.56	6.60		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第179図152	その他	(5.70)	1.70	0.25	5.59		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第179図153	頁岩	(4.50)	1.30	0.44	4.06		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第179図154	安山岩	(5.00)	1.70	0.65	5.86		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第179図155	頁岩	6.60	1.85	0.80	9.48		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第179図156	頁岩	5.00	1.40	0.70	4.64		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第179図157	頁岩	(3.20)	1.20	0.39	1.58		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第179図158	頁岩	(4.90)	1.80	0.55	5.38		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第179図159	安山岩	(4.40)	2.10	0.43	5.16		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第179図160	安山岩	(5.50)	2.00	0.45	6.68		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第179図161	頁岩	(3.00)	1.80	0.55	4.21		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図162	安山岩	5.30	1.20	0.50	3.89		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図163	頁岩	(3.50)	1.30	0.41	2.69		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図164	頁岩	(3.60)	1.40	0.55	3.83		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図165	頁岩	(5.20)	1.50	0.70	7.48		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図166	頁岩	(4.60)	1.20	0.70	4.24		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図167	頁岩	(4.20)	1.30	0.63	4.44		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図168	頁岩	(4.00)	(1.00)	0.30	1.70		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図169	頁岩	(3.40)	(1.60)	0.44	2.99		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図170	安山岩	(3.30)	(1.40)	0.47	2.42		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図171	頁岩	5.80	1.30	0.65	6.37		長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図172	頁岩	(4.35)	1.70	0.70	6.60	基部欠	長泉町教委2001

第2-4表 静岡県の有茎尖頭器集成

遺跡名	所在	遺物番号	石 材	長さ	幅	厚さ	重さ	備考	文献
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図173	黒曜石	(3.30)	1.40	0.64	3.48	無茎	長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図174	黒曜石	(3.55)	1.30	0.43	2.08	基部三角形	長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図175	その他	(3.65)	1.40	0.35	2.04	無茎	長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図176	安山岩	10.60	3.50	1.40	42.97	無茎	長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図177	黒曜石	10.80	2.50	1.10	29.61	無茎	長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図178	黒曜石	(2.20)	(1.40)	0.49	1.44	無茎	長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図179	黒曜石	(2.70)	(1.90)	0.67	3.46	無茎	長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図180	黒曜石	(3.10)	2.00	0.50	3.00	無茎	長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図181	黒曜石	(2.60)	(1.40)	0.62	2.84	無茎	長泉町教委2001
東野II橋下遺跡	駿東郡長泉町下長窪八分平	第180図182	頁岩	(8.00)	(5.10)	1.40	8.39	無茎	長泉町教委2001
西山遺跡	駿東郡長泉町元長窪内出	第50図1	ホルンフェルス	(3.2)	2.2	0.5	4.1		静岡県埋文2006
西山遺跡	駿東郡長泉町元長窪内出	第50図2	ホルンフェルス	(4.9)	1.5	0.6	5.6	風化、尖頭器として報告	静岡県埋文2006
中尾遺跡	駿東郡長泉町元長窪中尾	8図31	頁岩	(3.70)	1.80	0.60	3.70		長泉町教委1986
野台遺跡	駿東郡長泉町元長窪野台	103図88	頁岩	(5.25)	1.50	0.60	4.90		長泉町教委1986
野台遺跡	駿東郡長泉町元長窪野台	103図89	頁岩	(4.95)	1.30	0.55	3.90		長泉町教委1986
中峯遺跡	駿東郡長泉町元長窪中峯	第137図1	珪質頁岩(灰色)	(4.75)	1.6	0.55	4.4		静岡県埋文2003b
中峯遺跡	駿東郡長泉町元長窪中峯	第137図2	ホルンフェルス	4.2	1.4	0.55	2.7		静岡県埋文2003b
中峯遺跡	駿東郡長泉町元長窪中峯	第137図3	ホルンフェルス	(10.0)	1.45	0.65	10.9		静岡県埋文2003b
中峰遺跡(第2次調査)	駿東郡長泉町上長窪	第57図19	安山岩	5.3	1.4	0.5	—	表探	駿河考古学会1971
中峰遺跡(第2次調査)	駿東郡長泉町上長窪	第57図20	黒曜石	5.4	1.5	0.3	—	表探	駿河考古学会1971
桜畑上遺跡(第二東名)	駿東郡長泉町上長窪上野	第98図9	ガラス質黒色安山岩	3.66	1.47	0.42	1.0		静岡県埋文2009c
桜畑上遺跡(第二東名)	駿東郡長泉町上長窪上野	第98図10	ガラス質黒色安山岩	(2.91)	1.98	0.50	1.8		静岡県埋文2009c
桜畑上遺跡(第二東名)	駿東郡長泉町上長窪上野	第98図11	ガラス質黒色安山岩	(2.53)	1.43	0.35	0.7		静岡県埋文2009c
桜畑上遺跡(第二東名)	駿東郡長泉町上長窪上野	第98図12	黒曜石(神津島恩馳島)	3.21	(1.70)	0.51	1.8		静岡県埋文2009c
桜畑上遺跡(第二東名)	駿東郡長泉町上長窪上野	第98図13	瑪瑙	(5.41)	1.99	0.53	4.5		静岡県埋文2009c
桜畑上遺跡(第二東名)	駿東郡長泉町上長窪上野	第98図14	ホルンフェルス	(5.65)	1.53	0.50	3.5		静岡県埋文2009c
桜畑上遺跡(第二東名)	駿東郡長泉町上長窪上野	第98図15	ホルンフェルス	(5.82)	1.41	0.57	4.2		静岡県埋文2009c
桜畑上遺跡(第二東名)	駿東郡長泉町上長窪上野	第98図16	ホルンフェルス	(4.35)	1.72	0.68	6.9		静岡県埋文2009c
桜畑上遺跡(第二東名)	駿東郡長泉町上長窪上野	第98図17	珪質頁岩	(3.85)	1.61	0.47	3.5		静岡県埋文2009c
桜畑上遺跡(第二東名)	駿東郡長泉町上長窪上野	第98図18	珪質頁岩(黒色)	(3.69)	1.21	0.45	1.6		静岡県埋文2009c
桜畑上遺跡(第二東名)	駿東郡長泉町上長窪上野	第98図19	珪質頁岩(暗灰色)	(2.12)	1.00	0.31	0.6	基部欠	静岡県埋文2009c
桜畑上遺跡(第二東名)	駿東郡長泉町上長窪上野	第98図20	ガラス質黒色安山岩	(2.50)	1.11	0.50	1.0	尖頭器として報告、基部欠	静岡県埋文2009c
桜畑上遺跡(第二東名)	駿東郡長泉町上長窪上野	第98図21	ホルンフェルス	(3.31)	1.29	0.45	1.6	基部欠	静岡県埋文2009c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図344	ガラス質黒色安山岩	5.01	2.14	0.62	5.0		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図345	ガラス質黒色安山岩	(5.35)	2.18	0.89	7.5		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図346	ガラス質黒色安山岩	4.89	1.59	0.59	4.3		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図347	ガラス質黒色安山岩	5.29	1.88	0.61	4.3		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図348	ガラス質黒色安山岩	(4.54)	1.59	0.50	2.4		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図349	ガラス質黒色安山岩	(3.61)	1.29	0.43	1.9		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図350	ガラス質黒色安山岩	3.58	1.42	0.38	1.6		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図351	ガラス質黒色安山岩	(1.71)	(1.12)	0.30	0.4		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図352	ガラス質黒色安山岩	(2.52)	1.04	0.40	0.7		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図353	ガラス質黒色安山岩	(2.44)	1.56	0.34	0.9		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図354	ガラス質黒色安山岩	2.59	1.13	0.34	0.9		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図355	ホルンフェルス	(3.32)	(0.81)	0.24	0.9		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図356	ホルンフェルス	(4.23)	0.99	0.64	2.8		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第148図357	ガラス質黒色安山岩	(2.02)	1.33	0.41	1.9		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第149図358	ガラス質黒色安山岩	(5.71)	1.26	0.42	3.5		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第149図359	ガラス質黒色安山岩	(2.71)	1.51	0.48	2.2		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第149図360	黒曜石(天城柏崎)	(1.64)	(1.66)	0.35	0.3		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第149図361	頁岩	(4.37)	1.69	0.53	3.9		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第149図362	ホルンフェルス	(4.74)	1.47	0.56	4.3		静岡県埋文2010c
桜畑上遺跡(東駿河湾)	駿東郡長泉町上長窪上野	第149図363	ホルンフェルス	(3.07)	1.20	0.55	2.1		静岡県埋文2010c
向田A遺跡	駿東郡長泉町上長窪西細尾	第29図1	硬質頁岩	(4.31)	1.84	0.41	3.3	基部欠	静岡県埋文2007b
向田A遺跡	駿東郡長泉町上長窪西細尾	第29図2	ガラス質黒色安山岩	5.25	1.46	0.31	2.9		静岡県埋文2007b
向田A遺跡	駿東郡長泉町上長窪西細尾	図なし	ホルンフェルス	3.71	1.66	0.38	2.1	表探、遺物番号7791	静岡県埋文2007b
富土石遺跡	駿東郡長泉町東野	第27図2	珪質頁岩	(5.0)	1.9	0.8	—	厚さは実測図から計測	長泉町教委1981
富土石遺跡	駿東郡長泉町東野	第27図3	頁岩	(5.4)	1.4	0.5	—	厚さは実測図から計測	長泉町教委1981
富土石遺跡	駿東郡長泉町東野	第80図4	—	(5.2)	1.6	0.6	—	実測図より計測	秋本1976
梅ノ木沢遺跡	駿東郡長泉町東野	第184図1013	黒曜石(箱根黒岩橋)	6.53	1.80	0.71	7.12		静岡県埋文2007g
梅ノ木沢遺跡	駿東郡長泉町東野	第184図1015	輝石安山岩	(4.88)	1.72	0.78	6.99		静岡県埋文2007g
梅ノ木沢遺跡	駿東郡長泉町東野	第184図1016	ホルンフェルス	(5.12)	1.45	0.69	4.33		静岡県埋文2007g
梅ノ木沢遺跡	駿東郡長泉町東野	第184図1017	ガラス質黒色安山岩	(2.59)	1.08	0.38	0.97		静岡県埋文2007g
梅ノ木沢遺跡	駿東郡長泉町東野	第184図1018	ガラス質黒色安山岩	2.41	1.22	0.22	0.50		静岡県埋文2007g
梅ノ木沢遺跡	駿東郡長泉町東野	第184図1019	ホルンフェルス	(2.54)	1.70	0.76	4.05		静岡県埋文2007g
上山地遺跡	駿東郡長泉町南一色	図なし	玄武岩	—	—	—	—	写真右端	長泉町1971
上山地遺跡	駿東郡長泉町南一色	図なし	玄武岩	5.4	—	—	—	写真右から2番目	長泉町1971
上山地遺跡	駿東郡長泉町南一色	図なし	粘板岩	3.9	—	—	—	写真右から3番目	長泉町1971
上山地遺跡	駿東郡長泉町南一色	146図40	頁岩	4.8	1.7	0.7	—		長泉町教委1990
長井崎遺跡	沼津市内浦長井崎	Fig-24-8	珪質頁岩	(5.6)	1.5	2.5	—	厚さは実測図から計測	沼津市教委1980
大西田遺跡	沼津市宮本元野	図37	ホルンフェルス	—	—	—	—	写真のみ	沼津市教委1980
大谷津遺跡	沼津市岡一色大谷津	第41図6	頁岩	(3.39)	1.81	0.74	3.41		沼津市教委1994
大谷津遺跡	沼津市岡一色大谷津	第41図8	黑色安山岩	(4.02)	1.57	0.57	2.8		沼津市教委1994
鳥谷アラク遺跡	沼津市東原大アラク	第17図39	頁岩	(4.75)	(1.45)	0.54	3.70		沼津市教委2000
上松沢平遺跡	沼津市岡宮	第116図422	ガラス質黒色安山岩	4.91	1.71	0.65	4.3		静岡県埋文2004
上松沢平遺跡	沼津市岡宮	第116図423	ガラス質黒色安山岩	(3.32)	1.22	0.61	2.1	基部欠	静岡県埋文2004
上松沢平遺跡	沼津市岡宮	第116図424	ガラス質黒色安山岩	(3.16)	1.55	0.54	3.2	基部欠	静岡県埋文2004
清水柳北遺跡中央尾根	沼津市足高尾上	第778図88	安山岩	(4.1)	1.3	0.7	3.0	基部欠	沼津市教委1990a
清水柳北遺跡中央尾根	沼津市足高尾上	第779図89	頁岩	(5.3)	1.5	0.6	4.9		沼津市教委1990a
清水柳北遺跡中央尾根	沼津市足高尾上	第779図90	頁岩	(6.7)	1.4	0.8	9.4		沼津市教委1990a
清水柳北遺跡東尾根	沼津市足高尾上	第449図20	頁岩	6.5	1.8	0.6	7.2		沼津市教委1990a
清水柳北遺跡東尾根	沼津市足高尾上	第449図21	頁岩	5.1	1.9	0.7	5.4		沼津市教委1990a
清水柳北遺跡東尾根	沼津市足高尾上	第449図22	頁岩	(4.6)	1.3	0.7	4.4		沼津市教委1990a
清水柳北遺跡東尾根	沼津市足高尾上	第449図23	頁岩	(2.3)	1.4	0.7	5.6	基部欠	沼津市教委1990a
清水柳北遺跡東尾根	沼津市足高尾上	第449図24	黒曜石	(1.4)	1.5	0.7	1.1		沼津市教委1990a
清水柳北遺跡東尾根	沼津市足高尾上	第449図25	チャート	2.3	1.9	0.4	1.0		沼津市教委1990a
清水柳北遺跡東尾根	沼津市足高尾上	第449図26	黒曜石	3.2	2.0	0.6	3.5		沼津市教委1990a

第2-5表 静岡県の有茎尖頭器集成

遺跡名	所 在	遺物番号	石 材	長さ	幅	厚さ	重さ	備 考	文 献
清水柳北遺跡東尾根	沼津市足高尾上	第449図27	頁岩	4.3	1.6	0.6	3.0		沼津市教委1990a
清水柳北遺跡東尾根	沼津市足高尾上	第449図28	黒曜石	2.8	1.6	0.7	2.3		沼津市教委1990a
清水柳北遺跡東尾根	沼津市足高尾上	第449図29	黒曜石	3.4	2.0	0.6	3.2		沼津市教委1990a
尾上イラウネ北遺跡	沼津市足高尾上	第220図379	安山岩	(2.8)	0.8	0.3	0.7	基部欠	沼津市教委1992
尾上イラウネ北遺跡	沼津市足高尾上	第221図381	油脂頁岩	6.9	1.6	0.5	4.9		沼津市教委1992
尾上イラウネ北遺跡	沼津市足高尾上	第221図382	油脂頁岩	7.8	1.3	0.6	7.7		沼津市教委1992
尾上イラウネ北遺跡	沼津市足高尾上	第221図383	チャート	(2.4)	1.7	0.4	1.9		沼津市教委1992
イタドリA遺跡	沼津市足高尾上	第48図5	ホルンフェルス	3.196	1.508	0.488	2.28	基部欠	静岡県理文2009e
イタドリA遺跡	沼津市足高尾上	第48図6	ホルンフェルス	3.176	1.655	0.533	3.32		静岡県理文2009e
植出遺跡	沼津市足高尾上	第83図1	粘板岩?	(7.0)	1.4	0.7	7.6		沼津市教委2005
植出遺跡	沼津市足高尾上	第83図2	頁岩	(6.7)	1.3	0.7	5.8		沼津市教委2005
植出遺跡	沼津市足高尾上	第4図4	頁岩	(5.40)	1.20	0.40	2.40		静岡県理文1997b
植出遺跡	沼津市足高尾上	第4図5	ガラス質黑色安山岩	(7.90)	2.00	0.80	9.60		静岡県理文1997b
清水柳遺跡	沼津市足高尾上	図-26・4	チャート	(7.0)	1.7	0.7	—		沼津市1976
清水柳遺跡	沼津市足高尾上	図-26・7	珪質頁岩	(6.5)	1.3	0.5	—	基部欠	沼津市1976
丸尾北遺跡	沼津市足高	第114図1	黒曜石(神津島恩馳島)	5.35	1.28	0.59	3.2		静岡県理文2009d
丸尾北遺跡	沼津市足高	第114図2	ホルンフェルス	6.24	1.59	0.56	4.2		静岡県理文2009d
丸尾北遺跡	沼津市足高	第114図3	ホルンフェルス	(3.38)	1.55	0.46	3.0		静岡県理文2009d
丸尾北遺跡	沼津市足高	第114図4	ホルンフェルス	(2.42)	1.28	0.43	1.8		静岡県理文2009d
丸尾北遺跡	沼津市足高	第114図5	ホルンフェルス	(2.75)	0.95	0.65	1.3		静岡県理文2009d
丸尾北遺跡	沼津市足高	第114図6	黒曜石(深浦八森山)	(3.72)	2.04	0.61	4.3	尖頭器として報告、基部欠	静岡県理文2009d
丸尾北遺跡	沼津市足高	第114図7	珪質頁岩	(2.11)	(1.49)	0.47	1.5	尖頭器として報告、基部欠	静岡県理文2009d
子ノ神遺跡	沼津市大岡北小林子ノ神	第44図1	安山岩	7.9	2.0	0.7	8.2		沼津市教委1982
子ノ神遺跡	沼津市大岡北小林子ノ神	第44図2	安山岩	(5.5)	1.5	0.6	3.8		沼津市教委1982
子ノ神遺跡	沼津市大岡北小林子ノ神	第44図4	頁岩	4.5	1.1	0.5	2.1		沼津市教委1982
柏葉尾遺跡	沼津市大岡柏葉尾	第31図14	ホルンフェルス	(4.0)	1.5	0.4	2.2	長さは実測図から計測	沼津市教委1996b
中見代II遺跡	沼津市足高尾上	第42図1	凝灰岩	6.4	2.1	0.8	—	実測図により計測	沼津市教委1988
中見代II遺跡	沼津市足高尾上	第42図2	頁岩	(4.26)	1.60	0.49	3.4		沼津市教委1988
中見代II遺跡	沼津市足高尾上	第42図3	頁岩	(2.95)	1.39	0.43	2.1		沼津市教委1988
中見代II遺跡	沼津市足高尾上	第42図4	硬質安山岩	(5.32)	1.48	0.37	3.2		沼津市教委1988
中見代II遺跡	沼津市足高尾上	第42図5	黒曜石	(3.69)	1.22	0.50	3.0		沼津市教委1988
中見代II遺跡	沼津市足高尾上	第42図6	黒曜石	(1.08)	0.64	0.26	0.1	「5の先端部と思われる」資料。	沼津市教委1988
中見代III遺跡	沼津市足高尾上	第135図4	頁岩	(5.89)	1.36	0.40	4.1		沼津市教委1988
広合遺跡b区	沼津市足高尾上	第99図14	黒曜石	4.0	1.7	0.7	—		沼津市教委1987
広合遺跡a区	沼津市足高尾上	第100図22	珪質頁岩	4.62	1.89	0.65	4.7	計測表では石材は硬砂岩	沼津市教委1987
広合遺跡b区	沼津市足高尾上	第100図23	珪質頁岩	3.22	2.05	0.75	3.1		沼津市教委1987
広合遺跡a区	沼津市足高尾上	第100図24	頁岩	(3.76)	2.35	0.48	4.5		沼津市教委1987
広合遺跡b・c・d区	沼津市足高尾上	第31図42	黒曜石	3.2	1.8	0.4	1.1		沼津市教委1990b
広合遺跡b・c・d区	沼津市足高尾上	第31図43	黒曜石	(3.14)	(1.71)	0.38	1.2		沼津市教委1990b
二ツ洞遺跡a区	沼津市足高尾上	第127図1	頁岩	(5.0)	1.6	0.7	5.8		沼津市教委1991
二ツ洞遺跡b区	沼津市足高尾上	第127図2	頁岩	6.9	1.4	0.4	4.5		沼津市教委1991
二ツ洞遺跡a区	沼津市足高尾上	第127図3	安山岩	(7.3)	1.8	0.6	9.0		沼津市教委1991
二ツ洞遺跡b区	沼津市足高尾上	第127図4	安山岩	4.7	2.0	0.5	4.4		沼津市教委1991
二ツ洞遺跡a区	沼津市足高尾上	第194図6	安山岩	(2.2)	1.5	0.4	0.9		沼津市教委1991
二ツ洞遺跡b・c区	沼津市足高尾上	第92図41	珪質頁岩	(4.0)	1.4	0.5	2.4	基部欠	沼津市教委1993
二ツ洞遺跡b・c区	沼津市足高尾上	第92図42	黑色緻密安山岩	(3.2)	1.0	0.4	1.3		沼津市教委1993
二ツ洞遺跡b・c区	沼津市足高尾上	第92図43	グリーンタフ	(5.7)	1.4	0.4	4.2	基部欠	沼津市教委1993
土手上遺跡b・c区	沼津市足高尾上	第186図52	ホルンフェルス	(2.4)	1.0	0.6	1.9		沼津市教委1995
土手上遺跡b・c区	沼津市足高尾上	第186図53	ホルンフェルス	(3.1)	1.2	0.3	1.4		沼津市教委1995
土手上遺跡b・c区	沼津市足高尾上	第186図54	ホルンフェルス	(3.1)	1.4	0.8	4.6		沼津市教委1995
土手上遺跡b・c区	沼津市足高尾上	第186図55	ホルンフェルス	(4.5)	1.6	0.4	3.6		沼津市教委1995
土手上遺跡b・c区	沼津市足高尾上	第186図56	ホルンフェルス	4.3	1.3	0.8	5.2		沼津市教委1995
土手上遺跡b・c区	沼津市足高尾上	第186図57	ホルンフェルス	(3.4)	1.7	0.5	3.6		沼津市教委1995
土手上遺跡b・c区	沼津市足高尾上	第187図55	ホルンフェルス	(5.6)	1.4	0.4	4.3		沼津市教委1995
土手上遺跡b・c区	沼津市足高尾上	第187図59	安山岩	(3.7)	1.4	0.5	3.0		沼津市教委1995
土手上遺跡b・c区	沼津市足高尾上	第187図60	ホルンフェルス	(7.1)	1.6	0.5	5.0		沼津市教委1995
土手上遺跡b・c区	沼津市足高尾上	第192図85	珪質頁岩	(3.0)	1.3	0.2	1.2		沼津市教委1995
西洞遺跡a区	沼津市足高尾上	第86図349	頁岩	(5.9)	1.2	0.5	5.6		沼津市教委1996a
西洞遺跡b区	沼津市足高尾上	第184図350・351	頁岩	(4.4)	1.9	0.93	6.5	接合長・幅は実測図より計測、基部欠	沼津市教委1999
西洞遺跡b区	沼津市足高尾上	第184図556	頁岩	5.46	1.42	0.75	5.95		沼津市教委1999
西洞遺跡b区	沼津市足高尾上	第184図1608	頁岩	(6.89)	1.5	0.5	5.7		沼津市教委1999
西洞遺跡b区	沼津市足高尾上	第184図4519	頁岩	3.8	1.5	0.4	1.7		沼津市教委1999
西洞遺跡b区	沼津市足高尾上	第184図4683	頁岩	(3.9)	1.8	0.7	4.5		沼津市教委1999
西洞遺跡b区	沼津市足高尾上	第184図4985	ガラス質黑色安山岩	(2.3)	1.8	0.4	2.06	基部欠	沼津市教委1999
西洞遺跡b区	沼津市足高尾上	第184図4994	ガラス質黑色安山岩	(3.15)	1.16	0.37	1.3	基部欠	沼津市教委1999
西洞遺跡c・d区	沼津市足高尾上	第57図6	ホルンフェルス	(5.2)	1.1	0.7	4.8		沼津市教委2002
西洞遺跡c・d区	沼津市足高尾上	第58図1	ガラス質黑色安山岩	(3.7)	1.8	0.6	3.0		沼津市教委2002
西洞遺跡c・d区	沼津市足高尾上	第58図2	黒曜石	(2.5)	1.4	0.5	0.8		沼津市教委2002
西洞遺跡c・d区	沼津市足高尾上	第58図3	黒曜石	(2.0)	1.4	0.4	0.7		沼津市教委2002
葛原沢第IV遺跡	沼津市足高尾上	第67図4	ガラス質黑色安山岩	5.8	2.0	0.6	5.7		沼津市教委2001
葛原沢第IV遺跡	沼津市足高尾上	第67図5	ガラス質黑色安山岩	(3.9)	1.3	0.5	2.4		沼津市教委2001
葛原沢第IV遺跡	沼津市足高尾上	第67図6	ガラス質黑色安山岩	(7.7)	1.9	0.7	9.1		沼津市教委2001
葛原沢第IV遺跡	沼津市足高尾上	第67図7	ガラス質黑色安山岩	(3.3)	1.8	0.5	3.2		沼津市教委2001
葛原沢第IV遺跡	沼津市足高尾上	第67図8	ガラス質黑色安山岩	(4.6)	2.1	0.8	7.0		沼津市教委2001
葛原沢第IV遺跡	沼津市足高尾上	第67図9	頁岩	5.1	1.3	0.5	3.1		沼津市教委2001
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第323図737	ホルンフェルス	(2.89)	1.36	0.48	2.6		静岡県理文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第323図738	ホルンフェルス	(3.10)	1.77	0.64	3.9		静岡県理文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第323図739	ホルンフェルス	4.06	1.62	0.68	5.5		静岡県理文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第323図740	ホルンフェルス	4.46	1.51	0.51	3.8		静岡県理文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第323図741	ホルンフェルス	4.91	1.44	0.72	5.7		静岡県理文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第323図742	ホルンフェルス	5.67	1.91	0.53	5.4		静岡県理文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第323図743	ホルンフェルス	6.21	1.19	0.42	3.9		静岡県理文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第323図744	ホルンフェルス	7.21	1.62	0.72	8.1		静岡県理文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第323図745	ホルンフェルス	7.65	1.89	0.55	9.0		静岡県理文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第323図746	ホルンフェルス	7.17	1.99	0.67	10.0		静岡県理文2009b

第2-6表 静岡県の有茎尖頭器集成

遺跡名	所在	遺物番号	石材	長さ	幅	厚さ	重さ	備考	文献
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第323図747	黒曜石(推定不可)	6.3	2.85	0.90	13.5	長さは実測図より計測。左右非対称の有肩尖頭器。	静岡埋文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第323図748	黒曜石(神津島恩馳島)	5.70	2.16	0.60	5.5		静岡埋文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第324図749	ガラス質黒色安山岩	7.55	1.50	0.63	6.1		静岡埋文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第324図750	ガラス質黒色安山岩	6.07	1.88	0.62	6.1		静岡埋文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第324図751	ガラス質黒色安山岩	6.12	1.78	0.67	7.8		静岡埋文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第324図752	ガラス質黒色安山岩	5.17	1.68	0.55	6.1		静岡埋文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第324図753	ガラス質黒色安山岩	(5.07)	1.92	0.55	4.7		静岡埋文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第324図754	細粒安山岩	4.20	1.17	3.50	2.3		静岡埋文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第324図755	ホルンフェルス	13.63	3.21	1.18	48.6	側縁の突出が微小で、無茎となることが多い形態。	静岡埋文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第324図756	珪質頁岩	12.90	3.71	0.93	36.3	同上	静岡埋文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第325図762	チャート	3.00	1.42	0.41	1.2		静岡埋文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第325図763	珪質頁岩	3.73	1.76	0.61	2.8		静岡埋文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第325図764	珪質頁岩	4.05	1.75	0.49	2.8		静岡埋文2009b
秋葉林遺跡	沼津市青野秋葉	第325図765	ガラス質黒色安山岩	4.16	1.59	0.51	3.0		静岡埋文2009b
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図1	黒曜石	3.7	1.8	0.4	1.8		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図2	ホルンフェルス	4.17	1.97	0.63	4.1		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図3	黒曜石	2.25	1.35	0.46	1		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図4	ホルンフェルス	3.98	1.7	0.53	4.7		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図5	ホルンフェルス	6.23	2.14	0.57	8.4		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図6	ホルンフェルス	6.84	0.82	0.56	3.7		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図7	ホルンフェルス	5.44	1.82	0.48	4.6		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図8	ホルンフェルス	3.06	1.59	0.52	2.4		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図9	ホルンフェルス	3.05	0.8	0.35	0.8		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図10	ホルンフェルス	2.53	1.24	0.38	1.5		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図11	凝灰岩	3.2	1.09	0.4	1.3		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図12	ホルンフェルス	2.78	1.2	0.46	2		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図13	ホルンフェルス	3.24	1.46	0.38	2.1		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図14	ホルンフェルス	5.06	1.2	0.36	3.2		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図15	ホルンフェルス	4.87	1.1	0.37	2.3		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図16	ホルンフェルス	4.43	1.36	0.4	2.8		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図17	ガラス質黒色安山岩	5.76	1.2	0.51	4.1		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図18	ホルンフェルス	5.28	2.18	0.56	7		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第179図19	ガラス質黒色安山岩	3.83	2.05	0.51	4		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第180図1	ホルンフェルス	2.44	1.06	0.4	1		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第180図2	珪質頁岩	6.46	1.62	0.73	7.3		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第180図3	ホルンフェルス	3.73	1.33	0.57	3.1		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第180図4	シルト岩	4.38	1.4	0.43	3.2		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第180図5	ホルンフェルス	4.88	1.21	0.55	3.6		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第180図6	ホルンフェルス	8.6	1.44	0.56	8.9		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第180図7	ホルンフェルス	10.1	1.44	0.73	14.5		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第180図8	ホルンフェルス	8.67	1.4	0.97	12.2		静岡埋文2010d
の場遺跡	沼津市根小屋	第180図12	安山岩	(3.0)	2.03	0.43	3.3		静岡埋文2010d
藤ボサ遺跡b区	沼津市井出藤ボサ	第92図10	ホルンフェルス	3.19	1.61	0.52	2.30		静岡埋文2010b
元野遺跡	沼津市宮本元野	第204図112	ガラス質黒色安山岩	(2.9)	(4.2)	1.8	0.5		静岡埋文2008a
矢川上C遺跡	富士市船津矢川上	第166図1	ホルンフェルス	4.68	1.84	0.53	5.30		静岡埋文2009a
矢川上C遺跡	富士市船津矢川上	第166図2	ガラス質黒色安山岩	(8.81)	1.48	0.45	7.40	先端部欠	静岡埋文2009a
天ヶ沢東遺跡	富士市神谷天ヶ沢	第28図132	ホルンフェルス	(4.11)	1.46	0.51	2.34	先端部欠、実物より計測	静岡埋文2010e
天ヶ沢東遺跡	富士市神谷天ヶ沢	第28図134	ホルンフェルス	2.49	1.37	0.27	0.58	実物より計測	静岡埋文2010e
天ヶ沢東遺跡	富士市神谷天ヶ沢	第28図135	ホルンフェルス	3.06	1.44	0.35	1.43	実物より計測	静岡埋文2010e
天ヶ沢東遺跡	富士市神谷天ヶ沢	第28図136	珪質頁岩	5.25	2.11	0.61	6.4		静岡埋文2010e
古木戸A遺跡	富士市増川古木戸	第68図115	ホルンフェルス	(4.84)	1.6	0.49	(3.18)	先端部欠	静岡埋文2010e
古木戸B遺跡	富士市増川古木戸	第118図102	ガラス質黒色安山岩	4.72	1.58	0.51	2.1		静岡埋文2010e
下高原遺跡	富士宮市山本下高原	第III-43図5	ホルンフェルス	(1.89)	1.68	0.57	1.6	先端部欠	静岡埋文2010f
下高原遺跡	富士宮市山本下高原	第III-43図6	珪質頁岩	3.02	1.40	0.43	1.0		静岡埋文2010f
上石敷遺跡	富士宮市小泉石敷	第32図1	頁岩	7.0	3.7	0.5	—	実測図より計測	富士宮市教委1985
上石敷遺跡	富士宮市小泉石敷	第32図3	—	(2.3)	1.5	0.4	—	先端部・基部欠、実測図より計測	富士宮市教委1985
若宮遺跡	富士宮市小泉	第9図1	頁岩	(6.530)	1.670	0.880	(8.10)	基部欠	富士宮市教委1983
若宮遺跡	富士宮市小泉	第9図2	頁岩	5.820	1.620	0.700	5.40		富士宮市教委1983
若宮遺跡	富士宮市小泉	第9図3	頁岩	5.010	1.300	0.665	0.34		富士宮市教委1983
若宮遺跡	富士宮市小泉	第9図4	頁岩	4.190	1.355	0.825	3.00		富士宮市教委1983
若宮遺跡	富士宮市小泉	第9図5	黒曜石	2.100	1.630	0.540	0.85		富士宮市教委1983
月の輪平遺跡	富士市月星山	第80図1	—	5.5	1.4	0.5	4.6		富士市教委1981
瀧戸遺跡	富士市瀧戸	国54-2	硬砂岩	(4.1)	1.9	0.5	4.0	先端部欠	富士市教委1997
大鹿窪遺跡	富士市(旧芝川町)大鹿窪	国23-4-01	黒曜石(天城柏崎)	(2.65)	1.8	0.4	1.1	先端部欠	静岡埋文2006
大鹿窪遺跡	富士市(旧芝川町)大鹿窪	国23-4-02	黒曜石	2.3	1.8	0.5	1.0		静岡埋文2006
大鹿窪遺跡	富士市(旧芝川町)大鹿窪	国23-4-03	黒曜石	2.1	1.6	0.4	0.9		静岡埋文2006
大鹿窪遺跡	富士市(旧芝川町)大鹿窪	国23-4-04	黒曜石	2.1	1.8	0.5	1.4		静岡埋文2006
大鹿窪遺跡	富士市(旧芝川町)大鹿窪	国23-4-05	黒曜石	(2.0)	2.0	0.5	1.4	先端部欠	静岡埋文2006
小森遺跡	富士市(旧芝川町)西山小森		黒曜石	4.5	1.5	0.5	—	実測図より計測	秋本1972
小塚遺跡(第3次調査)	富士市(旧芝川町)西山小塚	第59図1	頁岩	2.2	1.9	0.3	—		静岡埋文2006
小塚遺跡(第3次調査)	富士市(旧芝川町)西山小塚	第59図2	頁岩	3.8	1.9	0.6	—		静岡埋文2006
小塚遺跡(第3次調査)	富士市(旧芝川町)西山小塚	第59図3	頁岩	(5.0)	1.8	0.5	—	茎部欠	静岡埋文2006
旗指遺跡第2地点	島田市旗指	T16	チャート	(4.2)	2.1	—	—	先端部欠	島田市教委1976
堂山遺跡	掛川市原里	144-3	—	5.2	2.1	0.6	—	掛川市史1997に計測値・写真	瀬川1992
長者屋敷北遺跡	磐田市寺谷	第349図1	シルト岩	(3.95)	2.10	0.51	2.5	先端部欠	磐田市教委2009
次郎太夫前遺跡	浜松市中区花川町東新田	144-1	—	(6.8)	(2.0)	0.7	—	先端部・基部欠、実測図より計測	瀬川1992
東平遺跡	浜松市西区神ヶ谷町東平	144-2	チャート	(5.1)	1.8	0.7	—	先端部・基部欠、実測図より計測	瀬川1992

*～市史～＝市史編纂委員会、加藤学園考古研＝加藤学園考古学研究所、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所、～教委～＝教育委員会
長さ・幅・厚さはセンチメートルを、重さはグラムを単位とする。

Use of the Tanged Points in Shizuoka

Ryohei SHIBATA Motoki MIYOSHI Yuuki NAKAMURA

Summary: The tanged point is one of characteristics of the Incipient Jomon period. In Shizuoka prefecture, recent excavations accompanied with large-scale constructions provide an increasing number of data on the tanged points, which counts 511 examples. Most of them were excavated in the eastern part of the prefecture but were rarely found in the Iwatahara plateau which has contained a mass of features belonging to the Paleolithic. They were mainly found respectively, not in group. The tanged points excavated in the east of Shizuoka are mainly (80%) made of hornfels and andesite, the region's local products. On the other hand, some of the other 20% are made of materials from distant place, such as the obsidian from Aomori prefecture.

Our results provide some subjects to be considered when studying local social relation in the Incipient Jomon period.

Key words: Tanged point, Incipient Jomon period, Jomon pottery decorated with slender clay ridges